

【重要なお知らせ：第2報】(2007.12.12)

平成21年度 名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程（前期課程）
心理発達科学専攻出願予定者の方々へ

これまで本学教育発達科学研究科は、博士課程（前期課程）の入試を、9月の第1期試験と1月の第2期試験の2回実施してきました。しかし、心理発達科学専攻のみ、平成21年度入試から第2期試験を廃止して第1期試験のみ実施することとなりました。ご注意ください。よろしくお願いいたします。

また、平成21年度入試から、学力試験の一部が変更されます。変更となる点は以下の通りです。

①筆記試験（専門科目）

心理行動科学領域・心理臨床科学領域・スポーツ行動科学領域とも、例年よりも思考力および論述力を問う問題構成に変更となります。具体的には、記述式問題6問のうち、各領域で指定した問題に解答する形式へ変更となります。

②筆記試験（英語）

心理発達科学に関連する英語力について試験する。

これまで、心理行動科学領域と心理臨床科学領域は2領域に関連する英語力を、スポーツ行動科学領域は当該領域に関連する英語力について出題していました。しかし、平成21年度入試から、英語については、心理行動科学領域・心理臨床科学領域・スポーツ行動科学領域の3領域に共通する問題を出題する形式へ変更となります。

※ 平成21年度入試とは、平成21年度の入学希望者を対象とした、平成20年度中に実施される試験のことです。平成20年1月に実施が予定されている平成20年度入試第2期試験は、従来通り行います。

平成19年12月

名古屋大学大学院教育発達科学研究科